

リンク KANAGAWA

神奈川県立がんセンター 婦人科のご紹介

◇診療体制と治療について

第21号 令和5年7月発行

- ・2023年4月より、手術枠を増枠し待機時間の短縮を図ると共に、特に婦人科悪性低侵襲下手術（腹腔鏡・ロボット支援下）を一層拡充強化した新体制となりました。根治性と安全性を担保できる最新の知見と我々の治療成績を提示した上で、手術3名の婦人科腫瘍専門医・指導医と、3名の産婦人科内視鏡技術認定医、婦人科ロボット手術プロクターによる手術チームで対応しています。
- ・婦人科がんの治療選択において、既に日常診療に深く浸透し、初回治療時点から適切な提供が求められるがんゲノム医療への対応を、2名の臨床遺伝専門医と遺伝性腫瘍専門医が担当しています。予防的リスク低減手術は腹腔鏡下で行っており、薬剤選択の遺伝子検査や遺伝子パネル検査も治療に役立てています。
- ・進行癌でも、CTガイド下生検や審査腹腔鏡検査で正確な診断を心掛け、多職種が関わりながら集学的治療を行っています。「治験」や「最先端の臨床試験」にも積極的に取り組んでいます。
- ・放射線治療では、遠隔転移のない進行子宮頸部腺癌など重粒子線治療をご提供する準備ができています。

◇チームメンバー

部長	佐治 晴哉	医長	小野瀬 亮
医長	近内 勝幸	医長	横澤 智美
医師	納富 嗣人	医師	吉川 千晶
レジデント	上田 麗子		



婦人科部長 佐治 晴哉

いつも、患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。
この度、4月に婦人科の責任者として18年ぶりに着任いたしました。
顔のみえる双方向性の連携診療体制こそが、患者さんファーストの理念に沿った最善の医療に繋がることを日々実感しています。特に根治性とQOL向上を目指した低侵襲下手術の拡充、推進に加え、がんは遺伝子異常の産物という認知が広まる中、早期癌でも昨今進歩の著しい婦人科がんゲノム診療に対応できる体制が、強く求められる時代になりました。患者さんや先生方と共に、新時代のがんセンターに合った婦人科がん診療を展開してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

外来診療は紹介予約制です

ご予約の際は紹介状をご用意ください。

☎045-520-2204（医療機関からの受診申込専用回線）

☎045-520-2210（患者さんからの受診申込専用回線）

受付時間（平日）8：30～17：00

〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾2-3-2 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター

お問い合わせ先 地域連携室 045-520-2272